

平成27年

目黒区教育委員会

第29回定例会会議録

(平成27年8月4日開催)

第29回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成27年8月4日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	木村 肇
	教育委員会委員長職務代理者	小村 恵子
	教育委員会委員	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	佐伯 英徳
	教職員・教育活動課長	濱下 正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	増田 武
	統括指導主事	細田 真司
	統括指導主事	和田 孝
	生涯学習課長	金元 伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		鈴木 敏由起
		山東 隆博

(午前9時30分開会)

- 委員長 第29回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席職員、欠席委員はございません。署名委員は笹尾委員です。
- ただいま傍聴の申請及び写真撮影の申請がありましたのでお諮りします。傍聴及び写真撮影を許可したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 委員長 それでは、傍聴及び写真撮影を許可することといたします。なお以後、傍聴及び写真撮影の申請があった場合には、その都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成28年度使用目黒区立中学校教科用図書採択について
(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 ありがとうございます。
- ただ今、説明があったとおり、全ての教科書が数社に絞り込まれておりますので、各科目1社に絞り込む作業を行います。事前に皆様の意見も伺っておりますので、最終的にどれを選ぶかということを示していただき、意見が割れた場合には、もう一度意見を伺いまして、できれば全会一致に絞り込みたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- それでは、国語から協議します。国語は、C社、F社の2社に絞り込まれております。
- 委員 私はF社を推したいと思います。
- 委員 私は、C社とF社を迷ったのですが、F社にしたいと思います。伝え合う力を高める工夫ですとか、小学校から中学校への連携がよりスムーズにいくような工夫がされているところが、特によいと思いました。
- 以上です。
- 委員 私は、A社とB社とF社を第一次選考で選びましたけれども、その中で、前回絞り込まれたのがC社とF社でした。今回、C社

とF社をもう一度検討しましたが、やはりバランスとしてF社のほうがいいと思いましたので、F社を推します。

○委員 私は、最終的にF社ということで絞り込んでおります。その理由としましては、一つは、学習指導要領の改訂に即しているかどうかという点が1点です。2点目は、調査研究委員会の報告書を踏まえて検討した結果、それらを総合的に判断して、F社に絞り込んだところです。

以上です。

○委員 私もF社を最終的には選びました。苦手な人にも得意な人にも、一番対応している内容と判断いたしました。

○委員長 そうなりますと、委員5人が全員一致してF社ですので、国語はF社を採択候補とします。

続きまして、書写について協議します。書写はC社とF社が最終選考に残っております。

○委員 私は、第一次選考の段階ではC社、X社、F社の3社を選びましたけれども、絞り込んだ以降の段階で再検討いたしまして、やはり、振り返りとか、じっくりと取り組める、写真の挿入の仕方等が非常によろしいということで、私はF社を選びました。

○委員 私は、F社がよい思いました。

○委員 私は、第一次選考ではA社とX社とF社を選びましたけれども、絞り込まれた2社をもう一度検討しまして、F社を選びました。

○委員 私は、書写はF社に絞り込んでおります。その理由としては、さきに申し上げたとおりでございますけれども、特にF社については、日常生活ですとか学習の内容について、目黒区を中心とした教育課題とリンクされておまして、そういった意味で、学習の定着を図ることができる点に着目をいたしました。したがって、F社ということで選定をしております。

以上です。

○委員 私も最終的にはF社を選びました。F社は資料も充実し、字典としての使用でき、辞書機能が一番備わっているということで、F社を選びました。

○委員長 書写については全員一致してF社ですので、書写はF社を採択候補とします。続きまして、地理について協議します。地理は、A社、B社、C社の3社が残っております。

○委員 私は、A社とC社の2社を絞り込みました。その中でもC社は、やってみよう、あるいは、タブレットで地図を見てみようなどの

地図が好きになる工夫がされているので、私はC社を推薦します。

○委員 私は、前回は申し上げましたが、C社が一番よいと思えました。写真や地図、図表などが見やすく、学校教育プランにも掲げられている防災教育の推進に合致した内容となっていたり、資料を集めて調べたり、また、それをレポートや発表するなど思考力・判断力・表現力を育む工夫もなされていると思えました。

以上です。

○委員 私も、全体的なバランスと図表、地図との関係もありまして、最終的にはC社がいいと思えました。

○委員 私は最終的にはC社ということで絞り込んでおります。その理由としましては、一つは、学習指導要領の改訂の要点として、基礎的・基本的な知識、概念や技能を習得できる工夫がなされているかどうか。2点目は、言語活動の充実に工夫がなされているかどうか。3点目は、伝統や文化等に関する学習の充実に工夫がなされているかどうか。これとあわせて、調査研究委員会の報告書を踏まえ、総合的に勘案した結果、C社ということで絞り込んだところでございます。

以上です。

○委員 私も最終的にはC社を選びました。特に学習課題が明確で生徒が関心を持ちやすく、解説も非常にわかりやすいです。

○委員長 地理に関しては、全員一致してC社ですので、地理はC社を採択候補とします。続きまして、歴史です。A社、B社、X社、F社の4社が残っております。

○委員 私は3社を絞り込みました。A社、X社、F社です。

その中で、特にすぐれていると感じましたのはA社です。A社は、まず生徒が読んでいて迷わないという工夫がされている。いろいろなもので調べてみるという記述が多いということと、歴史の事実について考えさせる記述があるというようなところを評価し、私はA社を推薦します。

○委員 私は、調査報告書の評価が多かったものということで、A社が一番多かったように思いました。といいますのも、学習した内容を確認したり、さらに深める内容がとても多く盛り込まれていたり、単元ごとにまとめのページがあつて、学習内容を振り返ることができる工夫も随所になされていたことが挙げられると思えます。

○委員 私は、A社とB社とF社を第一次選考のときには選びました。

もう一度、A社、B社、X社、F社を検討しました。その中で、私はA社とB社で迷いましたが、最終的には女性のコラムとか男女平等共同参画の記事などが充実しているA社を選びました。

○委員 私は、最終的にはA社に絞り込んでおります。その理由としましては、これまでどおり学習指導要領改訂のポイント、それから調査研究委員会の報告書等を踏まえ、改めて見直したところ、やはりA社は、各時代のまとめについて、章ごとに図や表で時代の特色を捉えるといった作業がきちんと示されている点や、それから、現代の日本と世界といった関係でも、国際関係、文化交流等を取り上げております。それから、章の中でも東京に関する歴史的事象なども取り上げており、総合的に勘案した結果A社に絞り込んでおります。

以上です。

○委員 私も最終的にはA社を選びました。最初はA社、X社、I社の3社で絞り込んだわけですが、皆様と同じ、A社が一番最適だと感じております。まず、机のマークがある欄が、非常に充実しており、内容が生徒に本当に考えさせる内容になっています。また、偏った見方のない客観的な記載も好感が持てております。

○委員長 歴史は、全員一致でA社ですので、A社を採択候補とします。続きまして、公民でございます。公民は、A社、B社、X社、F社の4社が残っております。

○委員 私は、今の4社の中からA社、X社、F社を、まずは第一次選定で選びました。その中で、A社ですが、最初の段階でスーパーマーケットから現代社会を見るというような、子どもの視点での疑問が述べられている。初めて公民を学習するときの興味を引く内容と理解いたしました。生徒に配慮された内容になっているということで、A社を選定いたしました。

○委員 A社がよいと思いました。学習したことの定着が図られるような単元配列や内容構成の工夫がなされていることと、深めよう、試してみよう、公民にチャレンジなど発展的な課題が多数あるということで調査報告書での評価が高かったからです。それから、教科書展示会での意見・感想の中でよい評価が多かったことも理由です。

以上です。

○委員 私は、第一次選考のときはA社、B社、F社を選びました。今

回の4社の中からということで、もう一度検討した結果、やはりA社を選びました。司法制度改革のところなどとても丁寧に書かれているということと、裁判員制度、模擬裁判等のところが充実しているということが、評価しました。

以上です。

○委員 私は、最終的にはA社ということで絞り込んでおります。A社、B社、X社の3社を改めて見直したところ、総合的に見ますと、A社は随所にいろいろな工夫が凝らされている。例えば、見開きごとに学習課題をきちっと設けておりまして、生徒の疑問にきちんと答える工夫がなされている点。それから、まとめとして説明課題が設定されておりまして、再度振り返り学習もできる形になっている。こういったことから見て、基礎的・基本的な学習の習得が図られる点。それから、言語活動の取り上げにつきましては、私たちと国際社会の課題にページ数を使用しておりまして、社会参画を促すつくりになっている。こういった点は評価できるなということで、総合的に勘案してA社ということで選定をいたしております。

以上です。

○委員 私もA社を選びました。学ぶ工夫がされていますし、机のマーク、それから公民にチャレンジ等、問いかけが生徒に考えさせる工夫がぬきんでていると思いました。

○委員長 公民に関しては、全員一致してA社ですので、A社を採択候補とします。続きまして地図です。A社、B社の2社が候補に残っています。

○委員 私はB社を推薦します。B社の中で特に評価したいと思ったのは、世界地図の中に日本地図が描き込まれています。これは、同じ緯度・経度などで生徒が興味を持ちやすい、非常にすぐれた工夫がされていると思いました。さらに、地図の中に歴史の記述も加えられています。それから、大陸横断鉄道の歴史なども書かれているということで、多方面から生徒が興味を持ちやすいような内容になっておると思いますのでB社を推薦します。

○委員 私もB社がよいと思いました。

○委員 私も、最終的にはB社を選びました。どちらもよくできていると思いましたけれども、最終的にB社を選びました。

○委員 私は、最終的にB社ということで絞り込んでおります。その理由といたしましては、日本全図、世界州別図、日本地図別図など、

基本的な図が充実している点が1点です。それから、鳥瞰図が数多く掲載されておりまして、立体的に地図を確認できる工夫されていること。それからグラフですとか写真、図等が数多く掲載されておりまして、生徒に興味・関心を高める工夫がなされた点を踏まえ、総合的に勘案してB社ということで絞り込んでおります。以上です。

○委員 私もB社を選んでまいりました。やはり、前回は申し上げたとおり、地図を資料・辞書として使ったとき、使いやすいのはB社のほうですのでB社を選ばせてもらいました。

○委員長 地図は全員一致してB社ですので、B社を採択候補とします。続きまして、数学です。数学はA社、B社、F社の3社が残っております。

○委員 私は、A社、B社、F社の残った中でB社とF社を、それに加えてX社を第一次選定で選びましたけれども、非常に迷いました。B社も私は高く評価したんですけれども、やはり皆様のご意見を伺っていく中で、F社の評価が高いというところを気づきましたので、現時点では、私はF社を推したいと思います。

○委員 私は、最初はA社とF社とY社とH社を迷ったんですが、最終的に残った中から、F社がよいと思いました。やはり導入の部分で身近な課題を取り上げて、興味・関心を高める工夫がなされていることと、自分の言葉で伝える課題が設けられていて、言語活動を取り入れた共同的な授業に取り組みやすいという工夫がなされているところ。それから、別冊で各単元の内容を深められる構成になっているということや、小学校からの接続がスムーズに行く工夫もなされているというところがよいと思いました。以上です。

○委員 私は、第一次選考のときはA社、B社、C社、F社を選びました。今回、A社、B社、F社の中から1社に絞り込むということですがけれども、なかなかB社もいいなと最後まで思いましたけれども、総合的に考えて、私もF社でいいと思います。

○委員 私は、最終的にはF社ということで絞り込んでおります。その理由としましては、一つは、発達や学年の段階に応じた繰り返しによる指導の充実、そういう点について工夫がなされているかどうか。それから2点目は、生徒が学ぶ意欲を高めたり、学びの意義や有用性を実感できるような、そういう点が工夫されているかどうか。3点目は、言語活動や体験活動の指導が行われるように、

数学的な活動を具体的に示しているかどうか。こういった点に着目しまして、F社ということで選定をしております。

以上です。

○委員　私もF社を選びました。やはり数学は積み重ねが大事ということで、A社なども積み重ね、振り返りに非常に配慮されているんですが、F社が一步ぬきんでているかなという感じがございます。分冊に関しては、メリットでもあるが、デメリットもあるのかなと思いき、迷ったのですが、メリットが勝つと判断しております。

○委員長　数学は全員一致してF社ですので、F社を採択候補とします。続いて理科でございます。理科に関しては、B社とF社が残っています。

○委員　私は、B社とF社と改めて比較してみましたけれども、言葉の語句が丁寧でわかりやすいことが一つ大きなポイントになりました。それから観察という行為を、とにかく理科が好きになる生徒には観察がポイントとなると思いますので、観察がわかりやすく表現されているというところを選びました。私はF社を推薦します。

○委員　私は、当初は、自然など身近な分野である第二分野から学べるようになっている教科書ということで、F社、A社、B社がよいと思ったんですが、一番その中でもF社がよいと思いました。やはり單元ごとに学習のまとめがあり、各単元の基本事項の確認や整理をすることができるということですか、暗記学習ができるようにカラーシートがついていて、何回もシート式で学習できるのも、学習の定着を図る工夫としてよいと思いました。それから、別冊マイノートに練習問題が豊富にあって、解答を確認しながら自主学習ができるというところは、報告書の評価としても高かったかと思います。

以上です。

○委員　私は第一次選考のときにB社とF社を選んで、今回、もう一度見ましたけれども、やはり本当に甲乙つけがたくて、B社もいいなと思っているのですが、ちょっと別の視点から考えて、やはり理数系ということからすると、数学との関係でF社というものもあるのかなと思いきまして、F社にしました。

○委員　最終的に、私はF社ということで絞り込んでおります。前回以降、F社とB社に絞り込んで、再度見直しをいたしましたけれども、やはり原点に立ち返って、学習指導要領の改訂のポイントは

どこにあるのか、あるいは、調査研究委員会の報告書の内容について見直し、そして教科書のほうも見直しましたがけれども、F社については、語句の定義あるいは観察・実験のまとめが非常に丁寧に掲載されておりまして、基礎的・基本的な内容の定着に重点が置かれている、こういう点を評価しております。それから、話し合ってみようという考察の場面を示しておりまして、いわゆるアクティブ・ラーニングを取り入れている点が工夫されていると思いました。以上のようなことから、F社に絞り込んでおります。

以上です。

○委員 私自身も、最終的にはF社になりました。非常に甲乙つけがたい。一番迷った科目でございます。ただ、数学・算数との連結、時々ポイント的に、算数・数学ではという表現で思い出させる表記もございます。問題提起が非常にはっきりしていきまして、すこしの差でF社と感じました。

○委員長 理科も全員一致してF社ですので、F社を採択候補とします。続きまして、音楽一般です。音楽一般はA社、B社の2社でございます。

○委員 音楽は、非常に迷いました。私は、A社の教科書も非常にわかりやすいというところで、A社を選んでおりました。これまでの目黒区での指導の中で、「モルダウ」が1年生に入っているか2年生に入っているかというところがありましたので、改めて考えまして、B社を推したいと思います。

○委員 私もB社がよいと思いました。やはり調査報告書でも、目黒区の児童・生徒の実態に合った発展的な学習ということでいえば、3年生の音楽鑑賞教室を見据えた授業展開を考慮すると、B社が適していると思いました。

○委員 私もB社がいいと思います。目黒区での指導の内容に関する問題、あるいは「モルダウ」の扱い方等です。

○委員 私はB社に絞り込んでおります。その理由としましては、やはり原点に立ち返って、音楽文化についての理解を深め、音楽を愛する心情、音楽に対する感性、音楽活動の基礎的・基本的な能力、そういったものが身につくような工夫がなされているかどうか。それから、音楽文化についての理解が総合的に作用し合いながら豊かな情操を養う、そういった工夫がなされているかどうか。そういった点を総合的に勘案して、B社ということで絞り込んでおります。

以上です。

○委員 私も非常に悩みまして、結局はB社を選びました。これは、調査報告書にある学校での使いやすさを考えて、B社を選ばせてもらいました。

○委員長 音楽一般は、全員一致してB社ですので、B社を採択候補とします。

続きまして、器楽合奏について、A社、B社の2社でございます。

○委員 これも一般と同じように、私はA社もいいと思っておりましてけれども、改めて見直しまして、よくよく考えてみますと、B社を推したいと思います。

○委員 B社がよいと思います。

○委員 私もB社がいいと思います。

○委員 私もB社に絞り込んでおります。その理由としましては、総合的に両社を比較した場合に、内容の充実等の観点からB社に絞り込んでおります。

以上です。

○委員 私もB社を選びました。リコーダーなどについてはA社もB社も遜色ないのですが、一般的奏法、いろいろな奏法の説明は、ややB社に分があると感じました。

○委員長 器楽合奏は全員一致してB社ですので、B社を採択候補とします。

続きまして、美術について協議します。美術はA社、B社、C社の3社が採択候補となりました。

○委員 私は、一次選定では、B社とC社をまず選定いたしました。その中で、B社の評価も決して悪くないというところで、改めて見直しまして、C社は生徒作品が豊富に網羅されているということと、構成がわかりやすい。それから、発想を促しやすいというような評価に改めて気がつきまして、C社を推薦することにいたしました。

○委員 私は、最初は、どの出版社もすばらしくて、ちょっと決められなかったんですが、再度、報告書なども見て考慮しまして、C社がよいと思いました。やはり鑑賞という点でも、作家から生徒の作品に至るまで、多くの参考作品が掲載されていることとか、それから、日本や海外の文化遺産などを多く扱っていることも評価として高かったかと思います。

以上です。

○委員 私も、この3社ともとてもよくできていて、それぞれに特色があつていいと思いましたが、最終的にはC社を選びました。扱っている題材が、割と身近な題材があつたり、生徒の作品の取り上げ方など、やはりそういう点を選びました。

○委員 私も、最終的にはC社ということで絞り込んでおります。基本的な考え方はこれまで申し上げたとおりでございますけれども、特にC社につきましては、日本や外国の文化遺産等を数多く取り扱っている点を着目しております。それから、渋谷や六本木等の身近な題材の作品、あるいは建物の写真が数多く掲載されておまして、現代の美術文化を身近に感じ取れる、そういった点に着目をいたしております。そういったことから総合的に勘案して、C社ということで絞り込みました。

以上です。

○委員 私も最終的にはC社を選びました。皆さんの意見と同じなんです。あと加えるならば、巻末資料が生徒にわかりやすい、使いやすいという面もあるかと思えます。

○委員長 美術は全員一致してC社ですので、C社を採択候補とします。続きまして、保健体育について協議します。A社、C社の2社が採択候補となりました。

○委員 私は、一次選定ではA社とB社を選ばせていただきました。その中で改めて見直しまして、A社の中で特に印象に残りましたのは、スポーツが心身に及ぼす効果等の世代を超えた共通の課題となっているところがしっかりと押さえられておまして、生徒が家に帰って親御さんと話す共通の話題になるのではないかと。こういった面からも保健体育を好きになる生徒がふえるだろうということを期待しまして、A社を選びました。

○委員 私もA社とC社と迷ったんですけれども、最終的にA社がよいと思えました。報告書の中で多く高かった評価として、学習が日常生活における実践につながるよう配慮されていることや、資料、図、解説などがわかりやすく、レイアウトも工夫されているところ。それから、随所に他教科マークがあり他教科の学習内容との関連を示し、系統的・発展的な指導を行うことができるのでよいというような評価が高かったです。

以上です。

○委員 私は、第一次選考のときにA社とC社を選びました。そのとき

はむしろ、私はC社のほうが自分の中では優先順位は高かったんですけれども、今回改めてもう一度見直してみて、C社は内容が少し高度というか、中学生には少し難しいのかなとの思いもありまして、最終的には私もA社を選びました。

○委員 最終的に、私もA社に絞り込んでおります。その理由としましては、スポーツを通して健康な心と体をつくる、こういった基本的な視点に立って日常生活への運動の取り入れ方、こういったことが容易に学べる内容になっている点の一つです。それから、健康な生活と疾病の予防ですとか障害の防止等、健康、保健の分野のページ数、それから内容が充実している点、この点が最終的に絞り込んだ大きな理由であります。

○委員 最後に何か反旗を翻すようですが、私はC社を選んでまいりました。これは、健康な生活と病気の予防という一番テーマのところは非常に、これは一生涯役立つ、疾患とか病気、健康の知識であって、これだけは皆さんに知っておいていただきたいな、生徒に知っていただきたいなということで、C社を選びました。

○委員長 各委員の意見をまとめると、保健体育はA社を採択候補とすることよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○委員長 それでは、保健体育はA社を採択候補とします。

続きまして、技術です。A社とC社が採択候補となりました。

○委員 私は、当初はA社とC社を選んでおりましたが、B社も一応改めて見直しまして、その3社で見比べました。当初はA社がかなりいいなと思っていたわけですがけれども、改めて見直しますと遜色ないなというところがあります。非常に現代を映す技術というようなものの表現の仕方、これにかなり工夫をされているということもありますので、C社を最終的には推すことにいたしました。

○委員 情報セキュリティや情報モラルについては3社とも触れていて、とても迷ったのですが、一番情報モラルなどについて丁寧に書かれていたのがC社だと思ったので、C社にしました。人権や個人情報保護の保護、知的財産の保護についても学習できる内容となっていることがよいと思いました。それからまた、目黒区の生徒の実態に合った発展的な学習という面で、ICT教育という点でも、デジタル教科書もあるということが大きいかなと思いました。

以上です。

○委員 私もA社とC社のどちらかということで迷いましたが、最終的にはC社を選びました。理由は、今、委員がおっしゃったこととダブりますので省略しますが、報告書の中でも評価がよかったということは言えると思います。

以上です。

○委員 私も、最終的にはC社に絞り込んでおります。基本的な考え方についてはこれまでどおりでございますけれども、特にC社につきましては、日常生活において生徒が興味を持てるような点について着目をいたしました。

○委員 私も、最終的にはC社を選びました。やはり技術・家庭の技術ということで、基礎的・基本的な知識や技術の習得という面で見ますと、やはりC社が一步ぬきんでいていると思えました。

○委員長 技術は全員一致してC社ですので、C社を採択候補とします。続きまして、家庭について協議します。A社、C社の2社が採択候補となりました。

○委員 私もA社とC社を決めがたかったんですけども、改めて見直しまして、C社のほうは身近な消費生活と環境が重点的に構成されています。あと、振り返りが丁寧に書かれていますので、これをもとに、生徒が家庭に戻って家族との会話が生まれるということも期待できそうな構成になっているということで、C社を推したいと思います。

○委員 私もC社がよいと思えました。家庭科の単元の中でも大きく4分野に分かれるかと思いますが、その4分野のバランスがよいことと、特にその中で、身近な消費生活と環境という分野は、3社の中で一番ページをとって、事例を挙げてわかりやすく説明したり、身近なテーマや資料がたくさん載っていて、基本的知識を習得させる工夫や思考力を養う工夫がよいと思えました。

以上です。

○委員 私は、第一次選考のときから、これはC社がいいなと思っていました。4つの分野のバランスがいいということと、女性、男女平等合同参画、子どもの権利などの人権課題について言及されているということですね。

以上です。

○委員 私も、最終的にはC社ということで絞り込んでおります。先ほどの技術分野、それから今回の家庭分野ともども、目黒区の教育

課題に応じた学習課題が設定されているという点について評価をいたしたところでございます。結果として、総合的に判断して、C社ということでございます。

以上です。

○委員　私も、これは一次選考のときからそうですが、C社を選ばせてもらいました。やはり学習の確認と定着が一番振り返りということで図られており、そして、参考は実際的で非常に詳しい内容になっているということで、C社といたしました。

○委員長　家庭は全員一致してC社ですので、C社を採択候補とします。続きまして、英語について協議します。A社、B社、X社の3社が採択候補となりました。

○委員　私は、一次選考の段階ではA社とC社とX社の3社を推薦しました。中でも私はA社は高く評価したんですけども、改めて見直しまして、苦手な生徒などには安心感を与える配慮がされているところも高く評価しまして、X社を推します。

○委員　私は、A社とC社とX社で迷ったのですが、調査報告書などを参考にしまして、X社がよいと思いました。やはり、聞く、話す、読む、書くの4技能がバランスよく取り入れられているということと、それから、生徒の興味・関心を満たす多様な題材が扱われていて、発展的な学習内容が多くあるのがよいというような評価が高かったかと思いました。

以上です。

○委員　私は、第一次選考のときからA社、B社、X社を選んで、その中でも今回、特にA社とX社で迷いました。どちらも本当にいい教科書だと思いますけれども、最終的には、4分野のバランスということと、デジタル、ワイドという形式的なところ、それから、小学校からの流れを1年生のときによくつかんでいるというようなところを評価して最終的にX社を選びました。

○委員　私も、最終的にはX社ということで絞り込んでおります。基本的な考え方についてはこれまでどおりでございますけれども、中身をよく見ますと、聞く、話す、読む、書く、この4技能のバランスがよく取り入れられている。また、音声画面ですとか、聞く、話す、こういった分野におきましては、聞き取りの狙いを3種類に分けていたり、スモールステップによるやりとりの形で話す力を育む工夫がなされている点。それから、フランスでの日本画、日本版画ブームですとか、テニスプレーヤーの有名選手、それか

ら世界遺産の紹介等、生徒の知的な興味や関心を持たすといった多彩な題材が使われている点等々、総合的に勘案して、X社ということに絞り込みました。

以上です。

○委員 私も、最終的にはX社にしました。4技能のバランスが非常にとれている。そしてなおかつ、単語が1,200厳選されていて、非常に生徒にとって学習目標もはっきりしているということで、最終的にはX社にさせていただきました。

○委員長 英語は全員一致してX社ですので、X社を採択候補とします。以上で、本日の教科書選考の協議を終了いたします。

次回8月18日に最終的に決定いたしますので、よろしく願いいたします。

ここで、議事の都合上、暫時休憩といたします。

(午前10時22分、休憩入る)

(午前10時25分、休憩終わる)

○委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成27年度目黒区学力調査実施結果の概要について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 全体像はよくわかりました。学力テストの趣旨ですとか、授業改善プランにどう反映させていくかという点はわかりましたけれども、今後の授業改善プランにかかわってきますので、各学校経営の中での判断ということも一つあるのだと思いますけれども、2ページの教科に関する調査結果の概要のところの小学校4年の理科、5年の理科、6年の理科、それから中学校3年までの理科については全て「△」ということで、同程度ということで、ほかのところは空欄のところが多々あるわけですがけれども、この理科が小学校4年から始まって中学校3年時まで一貫して「△」ということについて、今後、各学校経営の中で検討されていくんだと

は思いますけれども、この点について教育指導課として今の時点でどういう認識といいますか判断されているのかというのがあればお聞かせいただきたいと思います。

以上です。

○説明員

ただいまご指摘いただいた、小学校と中学校におけます理科の定着という部分についてのご指摘でございますが、平均正答率が目標値よりも5ポイントを超えずに、全て目標値よりも下がってはおりませんが、他の教科に比べると若干劣るということで「△」がついてございます。

この理科の課題については、長年の課題でございまして、理科の興味・関心をいかに高めるかということで、理科講演会を実施したり、さまざまな取り組みをいたしておりますが、調査ということで、知識、基本的な知識の定着度と活用という部分の両方ともに課題がございます。やはり理科については、単に基本的な事項を覚えるのではなく、観察・実験を通して、なぜそうなるのかということ、まず興味・関心を高めた上で取り組むということが極めて重要であることから、以前から理科支援員の配置などの国や都の事業を受けておりました。しかし、それがなくなったということで、今年度、新たに区として、各小・中学校について一定の時間、観察・実験の支援ということで、観察・実験を充実させるためにサポートできる方を配置をしております。そこをうまく活用しながら、小学校、中学校における観察・実験をより一層充実させた上で、基本的な事項等の定着を図りつつ、活用する力もさらにつけていきたいと考えております。課題認識としては、各学校、それから教育指導課としても共通に持っておりますので、今年度の結果を踏まえて、さらに理科に関しての学力を向上させるべく、さまざまな指導・支援をしてみたいと存じます。

以上でございます。

○委員

この目標値の設定なんですが、ここで「学習指導要領で示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した児童・生徒の割合」ということで設定されているわけですが、例えば英語とか数学というのは、ある程度積み重ねがあつて、つまりいたりするときつい学問と、例えば社会、これは本人、生徒がやる気になったときに割とそこでもう一度取り返しがつきやすいものの目標で見ている、社会がかなり低く設定されているというのは、どうしてもわからないんですが。社会は、

そのまま努力すればできる。数学は、ちょっと努力しても、つまずいた生徒にとっては取り返しにくい。そういうものの中において、数学の設定よりも社会の目標値の設定のほうが低いというのは、どうしてなんだろうなって思うのですがどう解釈すればよろしいでしょうか。

○説明員

先ほど、目標値の設定の仕方について簡単に申し上げましたが、まず、業者が問題を作成します。学習指導要領の改訂等の趣旨をふまえて、特に大幅に変更した場合についてはプレテストを行って、あくまで全国的な数値として大体おおむねこの程度できればということで数値を設定しています。

ご指摘のとおり、他の教科に比べると、社会、理科もそうですが、若干ほかの教科よりも目標値が低く目に設定されており、実態として、この問題を全国的な形でテストすると、おおむねその程度の平均正答率が出てきます。

特に社会科については、技能であるとか知識、つまり、これまで身につけてきた基本的な事項、それを覚えているかどうかという部分で、知識を問う問題については、本区におきましても、問題によっては、これは多国籍企業について理解をしているかということ、これは知識を問う問題なんですが、この区の正答率は21.0ポイントだったり、やはり全体的に見ると、思考・判断というよりも、技能であるとか知識の部分、やはりそれを定着していないという部分。地理、歴史で並行してやっておりますけれども、前年度の部分がなかなか十分に身につけていない、覚え切れていない、忘れてしまったりといったところで答えられずに全体的に見ると、知識の定着という部分については課題があると思っております。そこはやはり地道に暗記教科とよく言われますけれども、単に暗記ではなくて、いろいろな体験的な学習だったり、まさにアクティブ・ラーニングであったり、そういった部分でしっかり身につけていくということ、そういった点が、やはりこれからの課題として取り組む必要があるのかなと思っております。

特に中学校の2年生については、一番目標値が低く設定されておりますけれども、これはあくまで全国的な値なので、目黒区ではそれよりも3ポイント上には来ておりますけれども、やはり全体的な課題であると認識しておるところであります。

以上でございます。

○委員長

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

○委員

今の問題に重なるんですけれども、このデータというものを私が見て感じたのは、特に理科と社会については、高学年になるほど数字が落ちてくる。落ちてくるというか、2年、3年で大きな差はないんですが、他の教科に比べると落ちてくる。これがなぜかというのを考えてみたんですが、理科や社会は苦手だという意識が2年生ぐらいから出てくるのかなと。もうその苦手意識に対する対策といいますか、教え方というような面で、全国レベルということなんだろうけれども、もう少し工夫があってもいいのではないかなと思いますがいかがでしょうか。

○説明員

ご指摘の部分も多分にあるのかなと思います。

ただ、観察・実験は好きだけれども、いざテストをしてみると、なかなか点数に結びついていかないという部分も一面あるのかなと。その基本的事項の定着という部分、それについて、やはり一つ課題があると思っております。ただ単に覚えるではなく、やはり観察・実験を通して、その中から基礎原理を学んでいくことが、やはり特に理科では重要かなと思っておりますので、課題として捉え、今後、さらに具体的な学校に対して指導をしてまいりたいと思います。

また一方、社会科につきましても、さまざまな、地理、歴史、公民という分野と、かなりの量をやはり授業の中で取り扱うということで、単に教科書だけではなくて、副教材だったり、あるいはデジタル教科書、ICT機器を使った視聴覚教材等を使って、興味・関心を高めつつ、理科と同様に、基本的な事項をいかに身につけていくかと。先生の話はとてもおもしろくて、いろんなことを、授業は楽しいけれども、いざテストをしてみると、うまく思うような点がとれないというの、理科と同様に社会科の教科の特性という部分があるかなと思っております。

いずれにしても、やはり定着という部分、基礎・基本をしっかり身につけた上で、思考力・判断力・表現力を身につけていくという学習指導要領の狙いを、理科、社会のみならず、授業改善のほうを努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員

すみません、聞き漏らしたかもしれませんが、授業改善プランは作成の締め切りはあるのでしょうか。

○説明員

現在、既に学校はこの夏休み中に教科部会等を使って作成して

おりまして、8月中に作成をするように指示をしております。
以上でございます。

- 委員長 他にご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成27年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について
(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 このたびの先生もすばらしいと思うのですがけれども、中学校からは被表彰者が出ていません。何か推薦の段階とか選考の段階でいらしたんでしょうか。

○説明員 今回、中学校からの推薦等はございませんでした。

- 委員長 他にご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 教育委員会名義の使用承認状況について (報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員長 特にないようですので、この報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 生徒の熱中症について (報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 このお子さん、遅刻してこられたんですが、もう既にそのとき風邪を引いていたか何かだったのですか。
- 説明員 体調不良での遅刻ではなくて、当日、何かほかの用事があって、少しおくれて練習に参加をしたということですが、前日の過ごし方とか、夜更かし等の部分はなかったと報告を受けておりますけれども、そういった部分での健康観察もより注意していく必要が

あるかなと思っております。

以上でございます。

- 委員長 他にご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

〔 資料配布
・平成28年度隣接学校希望入学制度の実施について（修正） 〕

- 委員長 次回、8月11日の教育委員会定例会は委員会の都合により休会にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 委員長 それでは、次回の教育委員会定例会は8月18日、午前9時30分から開会します。以上で本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午前11時閉会)